医療分野スペイン語講座

【概要】

愛知県にはペルー人をはじめ中南米出身者が数多く居住し、医療現場でのコミュニケーション支援は地域の大きな課題となっています。本講座の目的は、医療現場において外国人患者とのコミュニケーション（スペイン語）を支援できる人材の養成、あるいは医療従事者が外国人患者と円滑にコミュニケーションできるようにすることであり、医療分野に特化したスペイン語の「語学講座」と、異文化理解や制度的側面を学ぶ「基礎知識講座」で構成されます。受講者はすでに初級レベル以上のスペイン語能力を有していることを前提に、2年間で語学講座102時間（1年目「中級」、2年目「中級（発展）」、各51時間）と、基礎知識講座18時間（1、2年目それぞれ9時間）の合計120時間を履修します。前者では実際の診療場面を想定しながらロールプレーを取り入れ、後者では中南米専門家、医療・行政関係者、医療通訳者等による講義やワークショップを行います。修了のためには、全授業の3分の2以上に出席し、与えられた課題を提出するとともに修了試験（筆記および口述）で70点以上の成績を修めることが必要です。